

跳ね上がり防止グレーチング

中馬好明

神鋼建材工業㈱ 製造部

グレーチング（鋼製溝ぶた）が道路、建築分野に普及するにつれ、近年環境問題として取上げられている車両走行時に発生する“カタン、カタン”という騒音の防止、車両の高速運転によりグレーチングが跳ね上がる事故の防止が、グレーチング製造メーカに求められてきた。その対策として、グレーチングの下面にゴムを敷く方法やボルトで固定する方法で対応してきたが、ユーザーズに対し十分満足するものではなかった。

そこで、溝ぶたのバイオニアである当社は、ユーザーズを全て反映したグレーチング「アマグレフィット」及び「アマグレビット」を業界に先駆けて開発した。「アマグレフィット」は受枠金具先付け工法、「アマグレビット」は受枠金具後付け工法である。

特長

金具で受枠とグレーチング本体を固定し、騒音防止と跳ね上がり防止ができる。

金具を半回転することで脱着・開閉が簡単にできる。

ボルト開口部がないため、乳母車などの小さな車輪の入り込みがなく、安全でかつ景観上も優れている。

既存グレーチングをアマグレビットで容易に改良できる。



写真1 アマグレフィット
（受枠金具先付け工法）
コンクリート打設時にセット



写真2 アマグレビット
（受枠金具後付け工法）
既設グレーチングの受け枠は
そのまま固定式グレーチン
グに改良



写真3 アマグレフィット施工例

問い合わせ先：神鋼建材工業㈱ 製造部技術室 中馬好明 TEL：(06) 6413-0198 FAX：(06) 6419-8776
E-mail: y-nakauma@shinkokenzai.co.jp

アルミ製受圧板

石井泰志

神鋼建材工業㈱ 製造部

受圧板は、斜面の安定化、崩落防止を目的に、地山表面に設置してアンカにて固定するものである。従来から使用されているものは、工場生産されたコンクリート製のものが多く、重量が1.5t以上あり施工には大型重機が必要である。また設置現場によっては、大型重機の搬入が困難で施工ができないこともあり、現場打ちコンクリートに対応しているが、コンクリートの養生期間などで工期の制約がある。

このような状況から、当社は㈱神戸製鋼所と共同で軽量のアルミニウム合金製受圧板を開発した。

種類

1) 溶接構造一体型

型材を組合わせて溶接にて一体化した受圧板である。

2) ボルト組立型

型材を組合わせてボルトにて一体化した受圧板である。

特長

1) 軽量

アルミニウムの最大の利点である軽さを生かし、搬入・取扱いが容易であり、大型の重機が不要で人力でも取扱いが可能である。

2) 経済設計が可能

アルミニウムの加工性を生かして、経済的な押出型材による剛性の高い箱型断面を採用した。

3) 着色が可能

環境対策として着色が可能で周辺環境との融合ができる。

4) リサイクルが可能

産業廃棄物とならず、必要であればリサイクル材として再利用が可能である。

5) 施工の自由度が高い

アンカを受圧板に直角に打込めない場合は、+15度から-15度までの範囲で施工が可能である。



写真1
現場を想定した
フィールド試験

問い合わせ先：神鋼建材工業㈱ 製造部技術室 石井泰志 TEL：(06) 6413-0198 FAX：(06) 6419-8776
E-mail: y-ishii@shinkokenzai.co.jp